

調査研究結果

	種目	発行者	教科書名
観 点	書写	2・東書	あたらしいしょしゃ一 新しいしょしゃ二 新しい書写三 新しい書写四 新しい書写五 新しい書写六
取 扱 内 容	<p>○ 硬筆については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1,2学年～ 文字を比べ、画の長さや方向の違いを確かめたり、画の接し方や交わり方などに気を付けて書いたりする活動を通して、文字を正しく書く。</p> <p>第3,4学年～ 文字の大きさや字間を確かめたり、行の中心や行間に気を付けたりする活動を通して、配列に注意して書く。</p> <p>第5,6学年～ 用紙に合った文字の大きさを確かめたり、文字の位置、字間及び行間に気を付けて書いたりする活動を通して、配列を意識して書く。</p> <p>○ 毛筆については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第3,4学年～ 1～2字の漢字や平仮名の題材で、点画それぞれの書き方、字形及び穂先の方向などを確かめる活動を通して、点画の種類を理解し筆圧などに注意して書く。</p> <p>第5,6学年～ 漢字や平仮名の題材で、終筆から始筆への動きなど、点画相互、文字相互のつながりを確かめる活動を通して、穂先の動きと点画のつながりを意識して書く。</p> <p>○ 硬筆と毛筆の関連については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第3,4学年～ 点画の種類や書き方、部首と部首の組立て方など、毛筆で学んだことを生かして硬筆で書く活動を通して、硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける。</p> <p>第5,6学年～ 点画のつながりや接し方、文字相互のつながりなど、毛筆で学んだことを生かして硬筆で書く活動を通して、硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける。</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1,2学年～ 「できるようになったよ」（第1学年）において、点画の書き方に気を付けるなど、課題を設定し、見通しをもたせるとともに、がんばったことやできるようになったことをカードに書く活動を行い、書いた内容を友達と伝え合うなど、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第3,4学年～ 「はがきでつたえよう」（第3学年）において、文字の大きさや字間に気を付けるなど、課題を設定し、見通しをもたせるとともに、はがきを書く活動を行い、これまでの学習をどのように生かしたか友達と話し合うなど、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第5,6学年～ 「書写展覧会を開こう」（第6学年）において、文字の大きさや配列に気を付けるなど、課題を設定し、見通しをもたせるとともに、色紙などに将来の夢を書く活動を行い、これまでの学習をどのように生かしたか友達と話し合うなど、考えを広げたり深めたりする活動</p>		

内容の程度・排列分量等

○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。

- 第1学年～ 平仮名について「曲がり、折れ」など、点画の書き方を確かめた後に、片仮名や漢字の文字の形の違いについて取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫（判型はA B判）
- 第2学年～ 片仮名や漢字について、点画の長短や方向、接し方や交わり方を確かめた後に、文章表記について取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫（判型はA B判）
- 第3学年～ 毛筆について1字の漢字の筆圧、点画の筆使いを確かめた後に、2字列の平仮名の「曲がり」などの筆使いについて取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫（判型はA B判）
- 第4学年～ 毛筆について1字の漢字の画の長さ、間隔、方向を確かめた後に、2字の漢字の組立てや平仮名の筆使いについて取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫（判型はA B判）
- 第5学年～ 点画の組立て方や配列を確かめた後に、目的に応じて筆記具を選択し、様々な用紙に書く活動について取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫（判型はA B判）
- 第6学年～ 点画のつながり、書く速さ、字形の整え方を確かめた後に、文字の大きさと配列に注意して書く活動について取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫（判型はA B判）

○ 内容の分量については、次のようになっている。

- 第1学年～ 硬筆は43ページであり、総ページ数は49ページで、前回より約20%増となっている。
- 第2学年～ 硬筆は34ページであり、総ページ数は45ページで、前回より約10%増となっている。
- 第3学年～ 硬筆は20ページ、毛筆は27ページであり、総ページ数は57ページで、前回より約16%増となっている。
- 第4学年～ 硬筆は16ページ、毛筆は25ページであり、総ページ数は53ページで、前回より約8%増となっている。
- 第5学年～ 硬筆は17ページ、毛筆は25ページであり、総ページ数は53ページで、前回より約8%増となっている。
- 第6学年～ 硬筆は17ページ、毛筆は22ページであり、総ページ数は53ページで、前回より約8%増となっている。

使用上の配慮等

- 課題解決のヒントを与えるキャラクターが登場したり（全学年）、手紙を書く学習（第2学年）や古文を視写する学習（第5学年）などの国語の学習との関連を図ったりするなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。
- 学習過程を分かりやすく図解した「書写の学び方」を掲載したり（第2学年以上）、教材ごとに自己評価のための「振り返って話そう」を設けたり（全学年）するなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。
- 当該学年の指導事項を児童に分かりやすく説明した「集めて使おう、書写のかぎ」を掲載したり（全学年）、カラーバリアフリーへの配慮やユニバーサルデザインフォントを使用したり（全学年）するなど、使用上の便宜が図られている。

その他

調査研究結果

	種目	発行者	教科書名
観 点	書写	11・学図	みんなとまなぶしょうがつこうしょしゃーねん みんなと学ぶ小学校しょしゃ二年 みんなと学ぶ小学校書写三年 みんなと学ぶ小学校書写四年 みんなと学ぶ小学校書写五年 みんなと学ぶ小学校書写六年
取 扱 内 容	<p>○ 硬筆については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1,2学年～ 画の長さや方向の違いを確かめたり、点画相互の間や交わり方、接し方などに気を付けて書いたりする活動を通して、文字を正しく書く。</p> <p>第3,4学年～ 画の長短や文字の中心を確かめたり、文字の大きさや文字と文字との間に気を付けて書いたりする活動を通して、配列に注意して書く。</p> <p>第5,6学年～ 用紙に対する文字の大きさを確かめたり、用紙の上下・左右の余白に気を付けて書いたりする活動を通して、配列を意識して書く。</p> <p>○ 毛筆については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている</p> <p>第3,4学年～ 1～2字の漢字、平仮名及び片仮名の題材で、漢字と平仮名の筆使いの違いや文字の組立て方を確かめる活動を通して、点画の種類を理解し筆圧などに注意して書く。</p> <p>第5,6学年～ 平仮名や漢字仮名交じりの文言の題材で、点画のつながりと筆順との関連を確かめる活動を通して、穂先の動きと点画のつながりを意識して書く。</p> <p>○ 硬筆と毛筆の関連については、次のような学習活動を取り上げ、目標が達成できるようになっている。</p> <p>第3,4学年～ 点画の方向や間隔、画の長短及び字形の整え方など、毛筆で学んだことを生かして硬筆で書く活動を通して、硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける。</p> <p>第5,6学年～ 穂先の動き、点画のつながり及び文字の大きさなど、毛筆で学んだことを生かして硬筆で書く活動を通して、硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける。</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1,2学年～ 「文字の形」（第2学年）において、文字の形のの違いに気を付けて書くという課題を設定し、見通しをもたせるとともに、漢字の外形を確かめて書く活動を行い、これまでの学習を振り返るなど、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第3,4学年～ 「ひらがな」（第3学年）において、漢字と平仮名の筆使いの違いに注意して書くという課題を設定し、見通しをもたせるとともに、始筆や方向に気を付けて書く活動を行い、これまでの学習を振り返るなど、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第5,6学年～ 「字形を整える」（第6学年）において、字形を整えて書くという課題を設定し、見通しをもたせるとともに、筆順、外形、組立てに気を付けて書く活動を行い、これまでの学習を振り返るなど、考えを広げたり深めたりする活動</p>		

内容の程度・排列・分量等

- 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。
 - 第1学年～ 平仮名について「曲がり、折れ」など、点画や文字の形を確かめた後に、片仮名や漢字の形や画の長さなどについて取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫（判型はB5判）
 - 第2学年～ 片仮名や漢字について点画の方向や点画の接し方、交わり方を確かめた後に、文章表記について取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫（判型はB5判）
 - 第3学年～ 毛筆について1字の漢字の始筆、送筆、終筆や点画、筆圧について確かめた後に、2字の平仮名の筆使いについて取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫（判型はB5判）
 - 第4学年～ 毛筆について2字の漢字の字形や文字の組立て方を確かめた後に、平仮名の筆使いや文字の大きさと配列について取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫（判型はB5判）
 - 第5学年～ 穂先の動きと点画のつながりを確かめた後に、文字と行の中心や文字の大きさと配列について取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫（判型はB5判）
 - 第6学年～ 穂先の動きと点画のつながりや字形の整え方を確かめた後に、用紙に合った文字の大きさや配列について取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫（判型はB5判）
- また、北海道に関わりのある内容については、次の内容が取り上げられている。
 - 第4学年～ 「都道府県名を書こう」で北海道（手本）、愛国駅（写真）
 - 第5学年～ 「都道府県名を書こう」で北海道（手本）、東藻琴芝桜公園（写真）
 - 第6学年～ 「都道府県名を書こう」で北海道（手本）、野塚展望台（写真）
- 内容の分量については、次のようになっている。
 - 第1学年～ 硬筆は37ページであり、総ページ数は50ページで、前回より約22%増となっている。
 - 第2学年～ 硬筆は33ページであり、総ページ数は47ページで、前回より約15%増となっている。
 - 第3学年～ 硬筆は14ページ、毛筆は20ページであり、総ページ数は51ページで、前回より約4%増となっている。
 - 第4学年～ 硬筆は18ページ、毛筆は22ページであり、総ページ数は59ページで、前回より約31%増となっている。
 - 第5学年～ 硬筆は18ページ、毛筆は21ページであり、総ページ数は53ページで、前回より約18%増となっている。
 - 第6学年～ 硬筆は15ページ、毛筆は16ページであり、総ページ数は51ページで、前回より約24%増となっている。

使用上の配慮等

- 用語の解説をするキャラクターが登場したり（全学年）、俳句を視写する学習（第3学年）や文学教材を視写する学習（第5学年）などの国語の学習との関連を図ったりするなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。
- 学習過程を分かりやすく示した「学習の進め方」を掲載したり（全学年）、実際に文字を書き込み自己評価を行う「振り返ろう」を設けたり（全学年）するなど、児童が主体的に取り組むことができるような工夫がなされている。
- 巻頭・巻末に学習のめあてや裏表紙に学習内容を一覧で示した「保護者の方へ」を掲載したり（全学年）、カラーユニバーサルデザインへの配慮やユニバーサルデザインフォントを使用したり（全学年）するなど、使用上の便宜が図られている。

その他

調査研究結果

観点	種目	発行者	教科書名
	書写	17・教出	しょうがく しょしゃ 一ねん 小学 しょしゃ 二年 小学 書写 三年 小学 書写 四年 小学 書写 五年 小学 書写 六年
取扱内容	<p>○ 硬筆については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1,2学年～ 文字を比べ、画の方向の違いを確かめたり、画相互の間や画の長さなどに気を付けて書いたりする活動を通して、文字を正しく書く。</p> <p>第3,4学年～ 文字の大きさや行の中心を確かめたり、書き出しの位置に気を付けて書いたりする活動を通して、配列に注意して書く。</p> <p>第5,6学年～ 用紙に合った文字の大きさを確かめたり、行間や上下・左右の余白に気を付けて書いたりする活動を通して、配列を意識して書く。</p> <p>○ 毛筆については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第3,4学年～ 1～2字の漢字、平仮名及び片仮名の題材で、曲がりや折れなど点画それぞれの筆の動きを確かめる活動を通して、点画の種類を理解し筆圧などに注意して書く。</p> <p>第5,6学年～ 平仮名や漢字仮名交じりの文言の題材で、文字の大きさや配列と関連付けて、文字のつながりを確かめる活動を通して、穂先の動きと点画のつながりを意識して書く。</p> <p>○ 硬筆と毛筆の関連については、次のような学習活動を取り上げ、目標が達成できるようになっている。</p> <p>第3,4学年～ 平仮名の筆使い、文字の組立て及び字形を整えるなど、毛筆で学んだことを生かして硬筆で書く活動を通して、硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける。</p> <p>第5,6学年～ 文字どうしの大きさや配列、点画のつながりなど、毛筆で学んだことを生かして硬筆で書く活動を通して、硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける。</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1,2学年～ 「文字をくらべて話し合おう」（第2学年）において、点画の書き方や文字の形に気を付けるなど、課題を設定し、見通しをもたせるとともに、「ためし書き」と「まとめ書き」を書く活動を行い、友達とどのように変わったのかを伝え合うなど、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第3,4学年～ 「レッツ・トライ」（第4学年）において、字間、行間、配列、及び余白に気を付けるなど、課題を設定し、見通しをもたせるとともに、学習内容を発表するための資料を書く活動を行い、内容を分かりやすく伝える工夫について伝え合うなど、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第5,6学年～ 「レッツ・トライ」（第6学年）において、文字の大きさや余白に気を付けるなど、課題を設定し、見通しをもたせるとともに、色紙に自作の俳句などを書く活動を行い、友達とよく書けているところを評価し合うなど、考えを広げたり深めたりする活動</p>		

- 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。
 - 第1学年～ 平仮名について「曲がり、折れ」など、点画や文字の形を確かめた後に、片仮名や漢字の画の方向について取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫（判型はB5判）
 - 第2学年～ 片仮名や漢字について点画の方向、長さ、接し方及び交わり方を確かめた後に、文章表記について取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫（判型はB5判）
 - 第3学年～ 毛筆について1字の漢字の始筆、送筆、終筆や点画、筆圧、字形を確かめた後に、2字の平仮名の筆使いについて取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫（判型はB5判）
 - 第4学年～ 毛筆について点画の種類を復習し、筆順と字形を確かめた後に、平仮名の筆使いや文字の組立て方について取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫（判型はB5判）
 - 第5学年～ 文字の組立て方や穂先の動き、筆順と字形を確かめた後に、文字の大きさや点画のつながりについて取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫（判型はB5判）
 - 第6学年～ 文字の大きさと配列、点画のつながりを確かめた後に、小筆を使用し、用紙に合った文字の大きさや配列について取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫（判型はB5判）
- また、北海道に関わりのある内容については、次の内容が取り上げられている。
 - 第4学年～ 「レッツ・トライ」で、北海道（手本）

- 内容の分量については、次のようになっている。
 - 第1学年～ 硬筆は39ページであり、総ページ数は49ページで、前回より約9%増となっている。
 - 第2学年～ 硬筆は28ページであり、総ページ数は41ページで、前回と同様となっている。
 - 第3学年～ 硬筆は20ページ、毛筆は30ページであり、総ページ数は61ページで、前回より約3%増となっている。
 - 第4学年～ 硬筆は21ページ、毛筆は28ページであり、総ページ数は61ページで、前回より約7%増となっている。
 - 第5学年～ 硬筆は22ページ、毛筆は26ページであり、総ページ数は53ページで、前回より約8%増となっている。
 - 第6学年～ 硬筆は15ページ、毛筆は26ページであり、総ページ数は53ページで、前回より約8%増となっている。

- 学習のガイダンスをするイラストが登場したり（全学年）、文学教材を視写する学習（第2学年）や新聞を書く学習（第4学年）などの国語の学習との関連を図ったりするなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。
- 学習過程を分かりやすく示した「学習の進め方」を掲載したり（全学年）、教材ごとに学習内容についての自己評価欄を設けたり（全学年）するなど、児童が主体的に取り組むことができるような工夫がなされている。
- 巻頭に文字に関連したコラムを掲載したり（第3学年以外）、色覚等の特性をふまえた、判読しやすい配色、レイアウト及びユニバーサルデザインフォントを使用したり（全学年）するなど、使用上の便宜が図られている。

調査研究結果

	種目	発行者	教科書名
観点	書写	38・光村	しょしゃ一ねん しょしゃ二年 書写三年 書写四年 書写五年 書写六年
取扱内容	<p>○ 硬筆については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1,2学年～ 文字を比べて、画の長さや方向の違いを確かめたり、画の付き方や交わり方などに気を付けて書いたりする活動を通して、文字を正しく書く。</p> <p>第3,4学年～ 文字の中心をそろえ、行を整えることを確かめたり、字間に気を付けて書いたりする活動を通して、配列に注意して書く。</p> <p>第5,6学年～ 用紙に対する文字の大きさを確かめたり、用紙に合わせた字間や余白に気を付けて書いたりする活動を通して、配列を意識して書く。</p> <p>○ 毛筆については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第3,4学年～ 1～2字の漢字や平仮名の題材で、漢字と平仮名の筆使いの違いや画の方向などの動きを確かめる活動を通して、点画の種類を理解し筆圧などに注意して書く。</p> <p>第5,6学年～ 平仮名や漢字仮名交じりの文言の題材で、筆や小筆を使用して点画相互、文字相互のつながりを確かめる活動を通して、穂先の動きと点画のつながりを意識して書く。</p> <p>○ 硬筆と毛筆の関連については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第3,4学年～ 点画の筆使い、字形の整え方及び文字の配列など、毛筆で学んだことを生かして硬筆で書く活動を通して、硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける。</p> <p>第5,6学年～ 穂先の動き、点画のつながり及び文字の大きさや配列など、毛筆で学んだことを生かして硬筆で書く活動を通して、硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける。</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1,2学年～ 「できているかな」（第1学年）において、筆記具の持ち方に気を付けるなど、課題を設定し、見通しをもたせるとともに、鉛筆の持ち方について友達どうして確認し合う活動を行い、よい点などについて友達と伝え合うなど、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第3,4学年～ 「リーフレットの書き方」（第4学年）において、文字の大きさや配列に気を付けるなど、課題を設定し、見通しをもたせるとともに、調べたことを紹介するリーフレットを書く活動を行い、内容や見やすさなどの観点で友達と読み合うなど、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第5,6学年～ 「めざせ！新聞記者」（第5学年）において、文字の配列や筆記具の選択に気を付けるなど、課題を設定し、見通しをもたせるとともに、新聞記事を書く活動を行い、紙面を読みやすくする工夫を友達と話し合うなど、考えを広げたり深めたりする活動</p>		

- 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。
 - 第1学年～ 平仮名について「曲がり、折れ」など、点画や文字の形を確かめた後に、片仮名や漢字の点画や文字の形について取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫（判型はB5判）
 - 第2学年～ 漢字について筆順、点画の方向、点画の接し方や交わり方を確かめた後に、文字の中心について取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫（判型はB5判）
 - 第3学年～ 毛筆について1字の漢字の点画や穂先の向き、筆圧との関係を確かめた後に、2字の平仮名の筆使いについて取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫（判型はB5判）
 - 第4学年～ 毛筆について部分の組立て方や筆順、字形を確かめた後に、平仮名の筆使いや2字の漢字の大きさについて取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫（判型はB5判）
 - 第5学年～ 穂先の動きや点画のつながりと字形、文字の組立て方を確かめた後に、用紙に合った文字の大きさについて取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫（判型はB5判）
 - 第6学年～ 穂先の動きと点画のつながりや、筆順と点画のつながりを確かめた後に、用紙に合った文字の大きさや配列について取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫（判型はB5判）
- また、北海道に関わりのある内容については、次の内容が取り上げられている。
 - 第5学年～ 「めざせ！ 新聞記者」で、イランカラブテ新聞（自然とともに生きるアイヌの豊かな文化を題材とした手書きの新聞記事）、「都道府県漢字」で北海道（手本）
 - 第6学年～ 「ポスターを作るときの工夫」で、「雪まつりへGO！ さっぽろ雪まつりの夫よさをみんなに知ってもらうために、来ている人にインタビューをしよう。」（ポスターの題名、見出し）
- 内容の分量については、次のようになっている。
 - 第1学年～ 硬筆は34ページであり、総ページ数は45ページで、前回より約15%増となっている。
 - 第2学年～ 硬筆は27ページであり、総ページ数は41ページで、前回より約11%増となっている。
 - 第3学年～ 硬筆は13ページ、毛筆は23ページであり、総ページ数は57ページで、前回より約4%増となっている。
 - 第4学年～ 硬筆は16ページ、毛筆は19ページであり、総ページ数は53ページで、前回より約8%増となっている。
 - 第5学年～ 硬筆は19ページ、毛筆は20ページであり、総ページ数は55ページで、前回より約17%増となっている。
 - 第6学年～ 硬筆は17ページ、毛筆は16ページであり、総ページ数は53ページで、前回より約8%増となっている。

- 分かりやすい図やイラストを掲載したり（全学年）、原稿用紙に書く学習（第2学年）や短歌をつくって書く学習（第6学年）などの国語の学習との関連を図ったりするなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。
- 学習過程を分かりやすく示した「学習の進め方」を掲載したり（第3学年以上）、教材ごとに学習内容についての自己評価欄を設けたり（全学年）するなど、児童が主体的に取り組むことができるような工夫がなされている。
- 裏表紙に児童自らが繰り返し確認できるような筆記具の持ち方を掲載したり（第3学年以上）、表などに識別しやすい組み合わせの色やユニバーサルデザインフォントを使用したり（全学年）するなど、使用上の便宜が図られている

調査研究結果

観点	種目	発行者	教科書名
	書写	116・日文	しょうがくしょしゃーねん 小学しょしゃ二年 小学書写三年 小学書写四年 小学書写五年 小学書写六年
取扱内容	<p>○ 硬筆については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1,2学年～ 誤った文字と比べ、画の方向の違いを確かめたり、画の接し方や交わり方などに気を付けて書いたりする活動を通して、文字を正しく書く。</p> <p>第3,4学年～ 文字の中心の目安となる画を確かめたり、字間や行間に気を付けて書いたりする活動を通して、配列に注意して書く。</p> <p>第5,6学年～ 用紙に合った文字の大きさを確かめたり、字間、行間及び余白に気を付けて書いたりする活動を通して、配列を意識して書く。</p> <p>○ 毛筆については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第3,4学年～ 1～2字の漢字、平仮名及び片仮名の題材で、点画それぞれの形や字形、筆使いを確かめる活動を通して、点画の種類を理解し筆圧などに注意して書く。</p> <p>第5,6学年～ 漢字や漢字仮名交じりの文言の題材で、正しい筆順を意識し、点画から点画へのつながりを確かめる活動を通して、穂先の動きと点画のつながりを意識して書く。</p> <p>○ 硬筆と毛筆の関連については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第3,4学年～ 漢字、平仮名及び片仮名の筆使い、点画の種類、及び文字の組立てなど、毛筆で学んだことを生かして硬筆で書く活動を通して、硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける。</p> <p>第5,6学年～ 文字の大きさ、配列、文字の組立て方など、毛筆で学んだことを生かして硬筆で書く活動を通して、硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける。</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1,2学年～ 「あったことをスピーチしよう」（第1学年）において、点画の書き方や文字の形に気を付けるなど、課題を設定し、見通しをもたせるとともに、スピーチ原稿を書く活動を行い、書いた内容を友達と発表し合うなど、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第3,4学年～ 「お気に入りの本をしょうかいしよう」（第4学年）において、行の中心に文字をそろえて書くなど、課題を設定し、見通しをもたせるとともに、本を紹介するリーフレットを書く活動を行い、読みやすくするための工夫について伝え合うなど、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第5,6学年～ 「提案文を書いて、話し合おう」（第5学年）において、目的に応じて使用する筆記具を選ぶなど、課題を設定し、見通しをもたせるとともに、提案文を書く活動を行い、読みやすい紙面にするための工夫について話し合うなど、考えを広げたり深めたりする活動</p>		

内容の程度・排列・分量等

○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。

第1学年～ 平仮名について「とめ、はらい」などの点画の書き方や文字の形を確かめた後に、漢字や片仮名の点画や書き方などについて取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫（判型はB5判）

第2学年～ 漢字について筆順、文字の形、点画の長短や方向を確かめた後に、点画の接し方や交わり方について取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫（判型はB5判）

第3学年～ 毛筆について漢字の点画や穂先の向き、筆圧との関係を確かめた後に、文字の中心や2字の平仮名の筆使いについて取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫（判型はB5判）

第4学年～ 毛筆について字形の整え方や部分の組立て方を確かめた後に、平仮名の筆使いや文字の大きさについて取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫（判型はB5判）

第5学年～ 字形の整え方や、穂先の動きと点画のつながりを確かめた後に、文字の大きさや配列について取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫（判型はB5判）

第6学年～ 文字の組立て方や点画のつながりと筆順を確かめた後に、用紙に合った文字の大きさや配列について取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫（判型はB5判）

また、北海道に関わりのある内容については、次の内容が取り上げられている。

第4学年～ 「都道府県名の書き方」で北海道（手本）

○ 内容の分量については、次のようになっている。

第1学年～ 硬筆は31ページであり、総ページ数は40ページで、前回と同様となっている。

第2学年～ 硬筆は29ページであり、総ページ数は40ページで、前回と同様となっている。

第3学年～ 硬筆は20ページ、毛筆は28ページであり、総ページ数は56ページで、前回より約8%増となっている。

第4学年～ 硬筆は21ページ、毛筆は27ページであり、総ページ数は56ページで、前回より約8%増となっている。

第5学年～ 硬筆は17ページ、毛筆は23ページであり、総ページ数は52ページで、前回と同様となっている。

第6学年～ 硬筆は17ページ、毛筆は23ページであり、総ページ数は52ページで、前回と同様となっている。

使用上の配慮等

○ 課題解決に向けたヒントを与えるキャラクターが登場したり（全学年）、本を紹介する学習（第4学年）や提案文を書く学習（第5学年）などの国語の学習との関連を図ったりするなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。

○ 学習過程を分かりやすく示した「（書写）学習の進め方」を掲載したり（全学年）、教材ごとに学習内容についての自己評価欄を設けたり（全学年）するなど、児童が主体的に取り組むことができるような工夫がなされている。

○ 巻頭に当該学年の指導事項を児童向けに示した「〇年生の目標」を掲載したり（全学年）、左利きでも視写できるレイアウトの工夫やユニバーデザインフォントを使用したり（全学年）するなど、使用上の便宜が図られている。

その他